

障がい福祉サービスを紹介

10月2日 あやともまつり

10月2日(日)10時30分～14時30分、オーエンス文化会館であやともまつりを開催します。

市内福祉事業所によるパン、お菓子、自主製品などの販売・展示のほか、横浜桜座による障がいのある方と共に作る音楽劇「チリンのすず(字幕付き)」や(一社)グランツ代表の飯田浩志さんによる講演「ありのままを表現することで輝くために～横浜桜座の挑戦～」などを行います。色覚障がいの体験ブースもあります。国障害があっても障害がなくても共に生きる綾瀬を創る協議会、あやともまつり実行委員会、市。

市内にどのような福祉サービスがあるのか知ることができるイベントです。この機会に、障がい福祉について考えてみませんか。

☎相談センターゆいまーる ☎79・5112。



音楽劇 「チリンのすず」

上演時間は13時～14時30分。定員100人(申込順)。
☎9月23日までに同センターゆいまーる：川股へ電話。



アイデア作品30点を展示

あやせっ子創意くふう展



10月15日(土)10時～20時、16日(日)10時～15時、綾瀬タウンヒルズシヨッピングセンター(深谷)で「あやせっ子創意くふう展」を開催します。
市内在住の小・中学生を対象に募集したアイデア作

品のうち、2次審査を通過した30点を展示します。子どもたちが「こんなものがあったらいいな」と考えたアイデア作品をぜひ見に来てください。

優秀な作品は市で表彰し、県青少年創意くふう展覧会に出品します。
☎青少年課 ☎70・5655

早期返還などを柱に 基地対策協議会が国へ要望

8月18日、市内各種団体の代表者で構成する市基地対策協議会が、防衛省や外務省など政府関係機関に「厚木基地問題に関する要望」を提出しました。
要望書は、市民が安全で快適な生活が送れるよう①

厚木基地の早期返還②騒音・安全対策③周辺対策④を柱としています。
要望先は、内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣、総務大臣、日本国駐在アメリカ合衆国大使などです。
☎基地対策課 ☎70・5604。

タイムスリップ

埋蔵文化財調査報告書

平成25年に実施した神崎遺跡最後の発掘調査についての報告書を刊行しました。報告書では同遺跡資料館での展示内容よりも詳しい発掘調査の情報について、記述しています。

同遺跡以外にも市では11種類の埋蔵文化財報告書を発行しています。最近では旧石器時代の遺跡として全国的に有名な地蔵坂遺跡の埋蔵文化財報告書を発行しました。

いずれも、発掘調査の成果を将来に伝えるための貴重な資料になります。興味のある方は同資料館などの公共施設や生涯学習課で閲覧できます。販売や貸し出しもしています。希望する方は、同課 ☎70・5637か直接。

「神崎遺跡範囲確認調査報告書」(400円)
「地蔵坂遺跡」(3500円)



▲神崎遺跡範囲確認調査報告書に掲載の住居址遺物出土状況



あやせ スポレポ!



空手道協会

☎佐藤
☎78・7916



まちかど特派員 吉江旭

市空手道協会は、NPO法人日本空手道協会、自衛隊空手道協会の2団体で組織されています。
6月19日、スポーツセンターで空手道競技大会が開催される中、同協会の佐藤達美理事長が、空手道の目指す到達点や今後の抱負などを話してくれました。
同協会は、昭和48年から10年間、50人ほどの仲間とクラブとして活動し、昭和58年に「心身を鍛えることのできる空手を広めたい」と協会として発足しました。「道場訓」は「1、人格の完成に努めること。2、誠の道を守ること。3、努力の精神を養うこと。4、礼儀を重んずること。5、血気の雄を戒めること」とし、現在では女性30人、男性50人の会員が活動しています。「障がいのある会員もいましたが、体を鍛えることで他の会員と変わらぬ活動ができるようになりました」と佐藤理事長は話が事のように語っていました。
ヨーロッパ大会やアジア



大会などで輝かしい成績を残してきた同協会ですが、佐藤理事長は「過去の成績におごることなく空手道に精進したい。目指すところは、道徳心を養い、礼儀作法を身に付け、精神力を向上させること」と熱く語っていました。
この日、会場では、小学生による「形」の競技が行われていました。空手を知らない自分にも、競い合う選手からの気迫を感じ、競技終了後の礼儀・態度の素晴らしさに感動しました。
4年後の東京オリンピックで、正式種目に決定した空手道のさらなる発展と、同協会の限らない活躍を期待しています。